

女性が変わる未来の農業推進事業 女性農業者リーダー育成研修会

主催：愛知県農業水産局農政部農業経営課
運営：株式会社日本能率協会コンサルティング（JMAC）

開催日時：2025 年 11 月 4 日火曜日 14 時～16 時
場所：愛知県西三河総合庁舎 大会議室 （岡崎市明大寺本町 1-4）

次 第

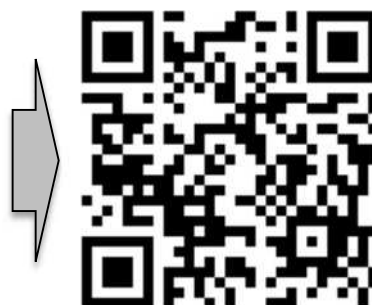
1. 開 会 挨 拶 愛知県農業水産局農政部農業経営課
課長補佐 鬼頭 雅也
2. 本日のプログラムについて 株式会社日本能率協会コンサルティング
チーフ・コンサルタント 柳沼草介
3. 講演 1 「女性農業者の経営参画」 有限会社アクト農場 （茨城県）
取締役 関美恵子 氏
4. 講演 2 「農福連携・地域連携」 有限会社ぶどうばたけ（山梨県）
取締役 三森かおり 氏
5. 講演 3 「海外人材の活躍」 有限会社農園星ノ環 （群馬県）
取締役 星野美樹 氏
6. パネルディスカッション・会場との意見交換 進行：JMAC 柳沼
7. 閉 会（アンケートのお願い）

ご参加ありがとうございました。

右記 QR コードからアンケートへのご協力をお願い致します。

紙のアンケートも若干ご用意しておりますので、
ご希望の方は、会場受付にて、お受け取りください。

アンケートはこちら



愛知県女性農業者リーダー育成研修会

「女性が農業経営を変える」

有限会社アクト農場
取締役 関 美恵子

2025年11月4日

愛知県西三河総合庁舎 大会議室

本日の内容

1. 本日のプレゼンテーマ「女性が農業経営を変える」とは
2. アクト農場の紹介
 - ①概況
 - ②直近15年の推移
 - ③歴史・トピックス
3. 「女性が農業経営を変える」ために取り組んできたこと
4. アクト農場の農業経営課題(農業経営は難しい)
5. 今後取り組みたいと考えていること

「女性が農業経営を変えるとは」

50年間の農業を振り返ってみると…

「つなぐこと」の役割が重要

経営者の夫が目が届かない部分を、女性ならではの視点で支えてきた

①「経営と現場」をつなぐ

女性目線での「働きやすい」「楽しい」「やりがいのある」職場環境づくり
厳しくも優しいお母さんのような立場(親心)で従業員をフォロー

②「生産者と需要者」をつなぐ

女性が中心となり、消費者目線のアイデアで利便性向上➡選ばれる商品づくり
女性職場での改善活動促進(販売先との連携、生産性向上活動)

③「世代間」をつなぐ

熟練者を大切にし、ノウハウを聞き出し、作業標準を作成

④「地域」をつなぐ(都市と農村)

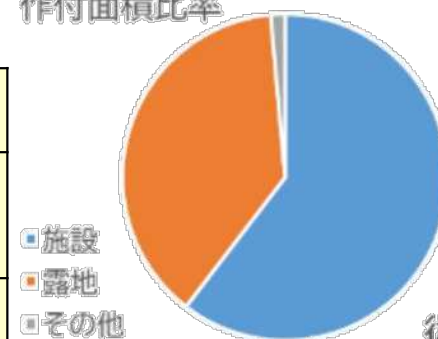
首都圏の食糧供給基地として、責任感を持って農業生産

アクト農場の紹介_①概況【経営】

有限会社 アクト農場の概要

代表者	関 治男
住所	茨城県東茨城郡茨城町城之内420
従業員	61名
作付面積	105ha/年(年間延面積)
簡易ハウス	430棟
売上高	463百万円
主な栽培品目	小松菜、水菜、カーリーケール、ルッコラ、しゅんぎく、バジルなど、10品目以上
主要バリューチェーン	外食・中食との直接取引 ＋市場出荷
主な取引先	外食、仲卸、ネット通販

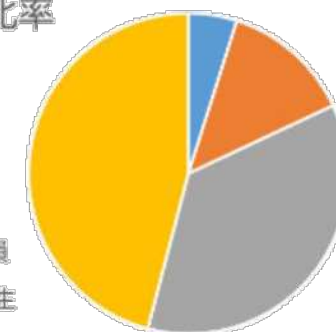
作付面積比率



従業員比率

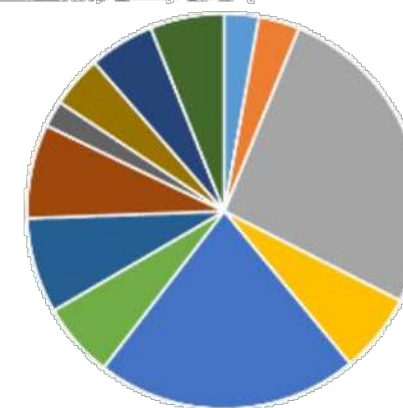
海外実習生の比率が増加し4割強

役員
正社員
パート社員
海外実習生



生産品売上高比率

ケール
馬鈴薯
小松菜
ルッコラ
水菜
バジル
パクチー
しゅんぎく
こねぎ
サツマイモ
人参
委託、その他



葉物野菜中心
多品目生産で
10品目以上

アクト農場の紹介_①概況【生産】

耕起→播種→発芽



栽培管理→収穫



収穫(圃場)→集荷(倉庫)



予冷库で保管



調整・包装・出荷職場



調整後、包装機ラインで包装



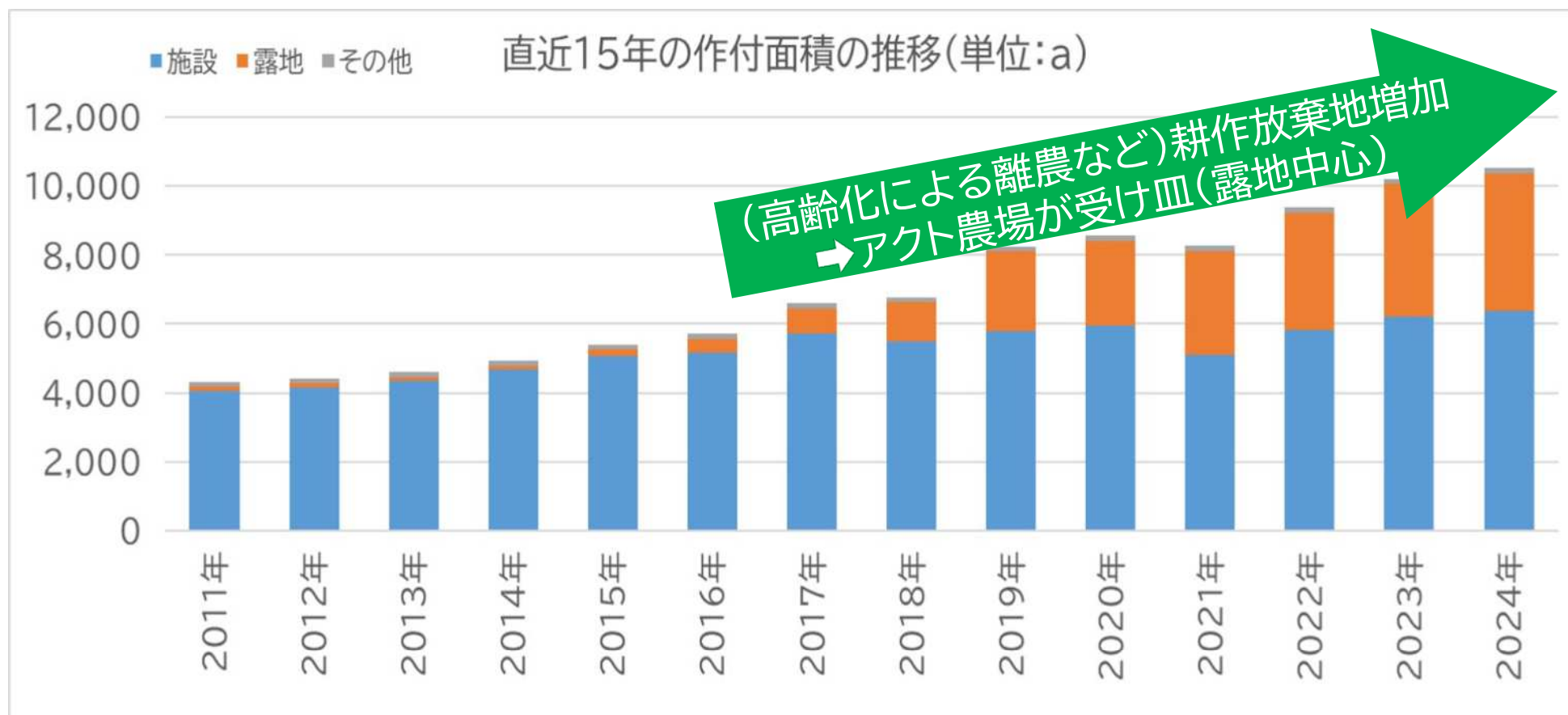
商品(パクチー)



商品(ルッコラ)

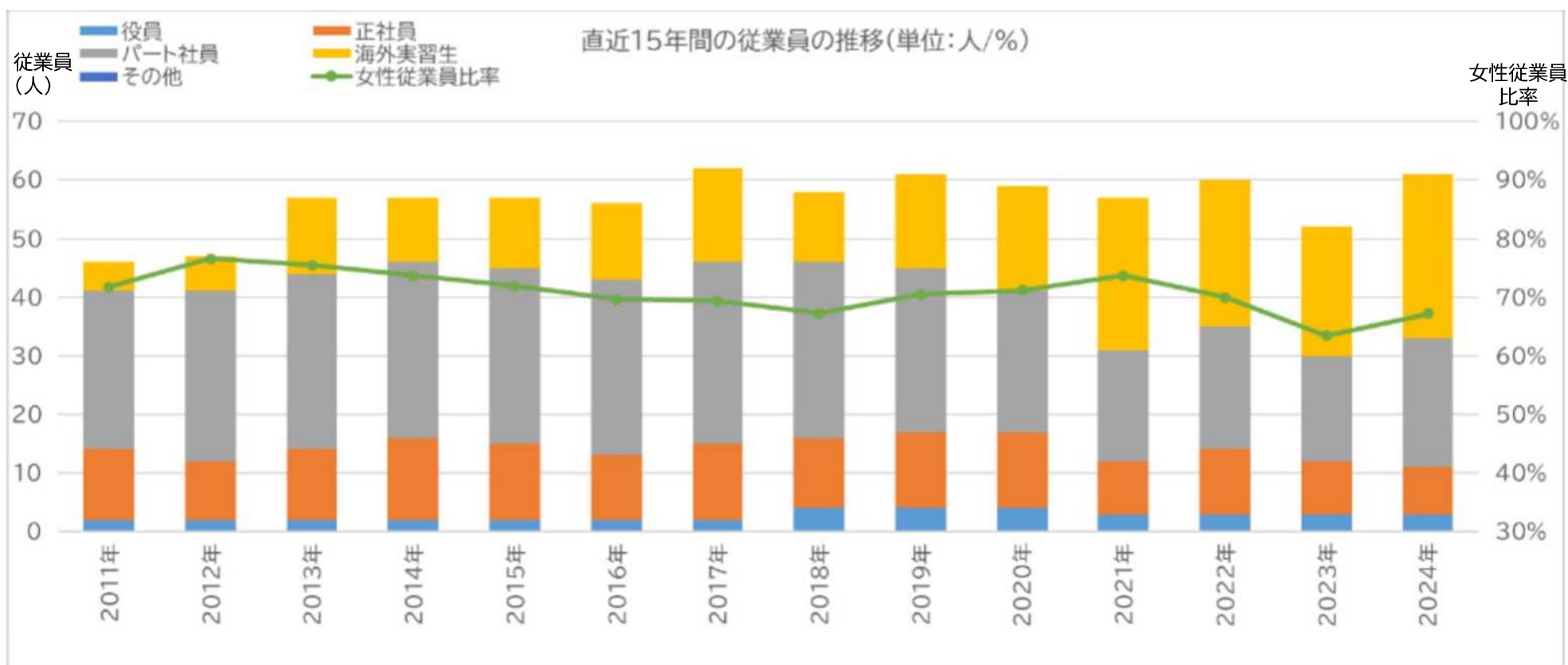
アクト農場の紹介_②直近15年【作付面積の推移】

- ✓ 作付面積は、この15年間で2.5倍の100ha超に増加。
- ✓ 簡易ハウスでの施設栽培が中心で、年間50ha以上生産している。
- ✓ 人員を増やしにくい中で、耕作放棄地は増加傾向で、最近は露地栽培中心に増やしている。



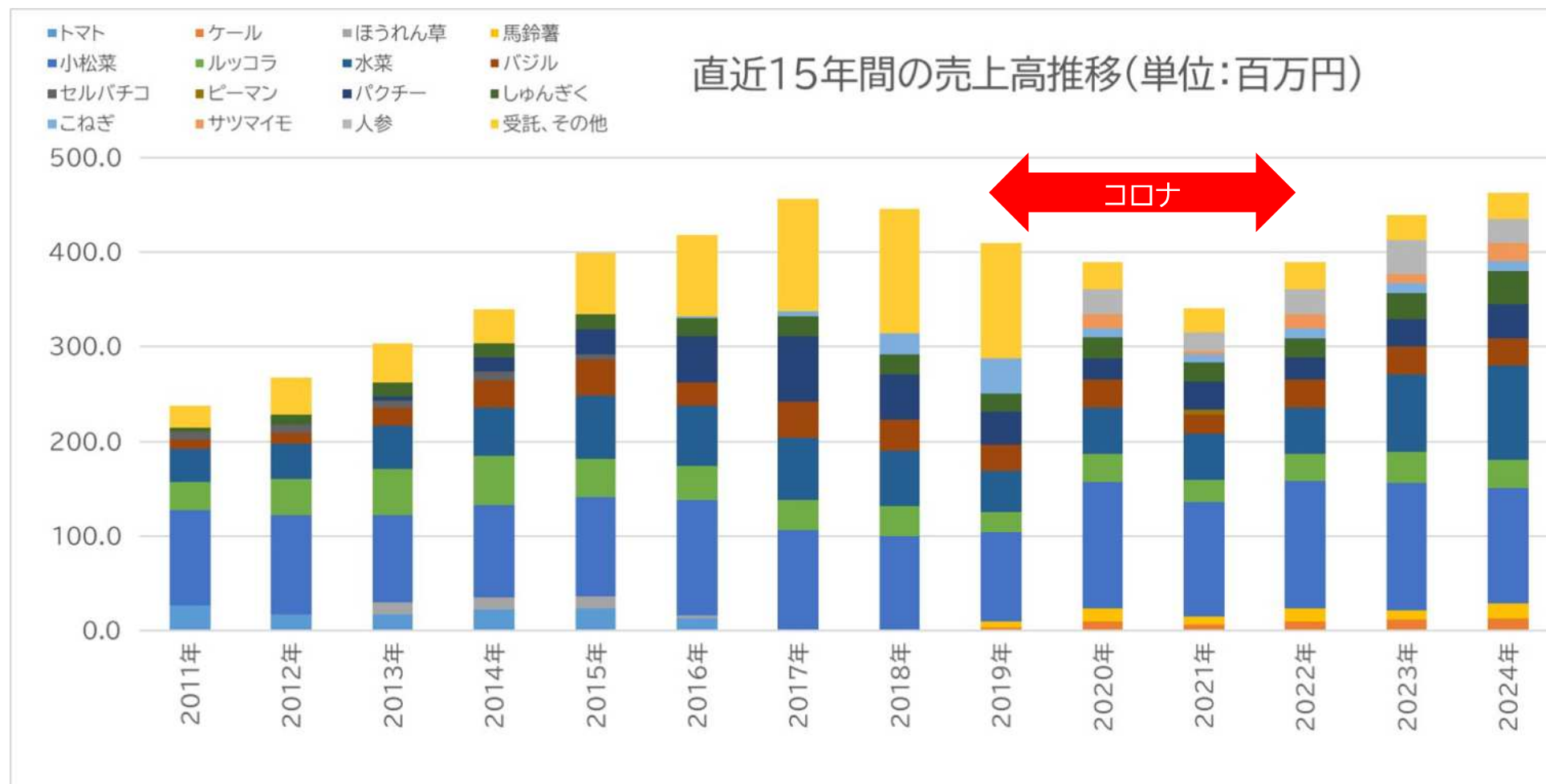
アクト農場の紹介_②直近15年【従業員数の推移】

- ✓ 従業員は役員を含んで46人～61人で、増えては減ってなかなか増加基調にはならない。
- ✓ 葉物野菜中心の生産で、女性従業員比率は、63%～77%。女性が中心の職場が多い。
- ✓ 海外実習生は28人まで増加し、頑張ってもらっている。(3～10年の安定した雇用)



アクト農場の紹介_②直近15年【売上高の推移】

- ✓ 売上高は、237～463百万円で推移し、コロナの影響で落ち込むも、この3年は回復基調。
- ✓ 主な生産品目は、施設栽培の小松菜がメインで、ハウスの有効活用も考えて10品目以上の多品目を栽培。
- ✓ 従業員一人当売上高は、5,167～8,452千円/人で上昇傾向。(10,000千円/人が目標)



「女性が農業経営を変える」ために取り組んできたこと

①自分が、現場目線で改善活動を推進

- 経営者目線だけではなく、現場作業員目線で改善活動を企画
- 「儲かる」ではなく「作業を楽に、安全に」を主題に、従業員が楽しいと思える改善活動を推進
- 成果の見える化だけではなく、成長の見える化を推進(現場作業員から改善アイデアが沸きだす仕掛け)
現場のお母さんのような位置づけでフォローすることで改善人材を育成

②女性部会の推進

- 消費者との交流(イベントに参加し、調理方法、食べ方を提案)
- 消費者の要望を聞く(量目・規格など、ニーズに沿った商品づくりへ)
➡ 安定した取引単価の設定へ ➡ 取引先の信頼を獲得
女性ならではの気配りでコツコツとファンを獲得

③若手に、品目リーダーとしての役割を与え、意識醸成

- リーダー候補の女性を選定(知識・経験不要。基本的な知識程度。やる気を重視。)
- 取引先のニーズ確認～需給調整・確認～作付計画管理～栽培管理～収穫・出荷手配の一貫した管理を任せ、権限と責任感を持たせた。
- 女性ならではの気配りで当初目的を達成。
- 経営者として側面フォロー＆最終的な責任・面倒はみて見守りに徹した。
➡基本は褒める。その気にさせる。不安要素を聞き出し、極力排除
権限と責任感を持たせることで、モチベーションUP

アクト農場の農業経営課題（農業経営は難しい）

課題1 人材増は難しい

いろいろ取り組んできたが、人材育成・確保は難しい。

手をかけ、目をかけて育成し、一人前になると独立を志向して退社する人が多い。

（我が子の成長と同じ。親離れ・子離れを前提にしないといけない）

➡作業標準を作り、穴埋めできる仕組みを作りたい。

優秀な人、期待する人ほど、独立したがる。

応援してあげたい気持ちもあり、退職しないでとはお願いしづらい。

➡いくら育成しても人員増加にはならない。

➡経営規模拡大には、人員増ではなく生産性向上が必要。

課題2 需要先との関係性維持は難しい

需要先との関係性構築は難しいが、維持していくのも大変である。

せっかく担当者と濃密な関係を構築できても、担当者変更でご破算になる。

また環境変化や天候不順の要因を理解してもらえない。立場立場での言い分。

アクト農場のファンになってもらうしかない。

離れられない関係、アクト農場がなくては事業が成立しない存在。

今後取り組みたいと考えていること

【アクト農場の取組として】

①人材育成の仕組みを構築し、成長を促進

- ・独立する人は止められない
- ・独立前提で育成、優秀な人に選ばれるアクト農場を目指す

★女性リーダーの育成

②独立後のフォローを含め、

友好(有効:お互いにメリットを享受)な関係性を構築

- ・農機の貸し借り、生産・栽培の受委託
- ・栽培ノウハウの標準化(先を読む力・スキル・目線、リスクを回避する能力)

★「チームアクト農場」組織化、互助的に充実した農業経営

【地域全体の取組として】

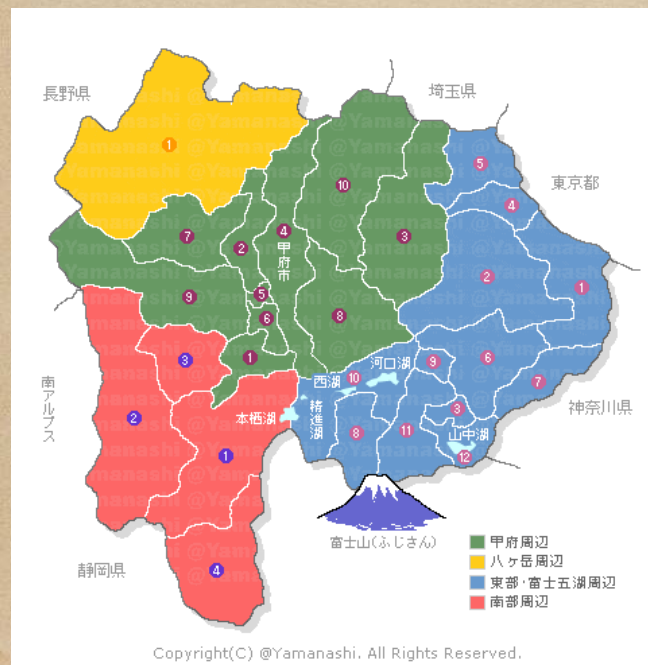
③地域のフードバリューチェーン構築

- ・少子高齢化に伴う個食化対応として、集会所で食事提供
- ・給食センターの老人向け給食の生産(少子化での能力余剰を利用)

★農業起点(食基軸)の地域循環型経済ネットワーク

誰もが輝く未来へ

有限会社ぶどうばたけ 取締役 三森かおり







【2021年】ももの生産量ランキング

● 山梨県の主要果実の出荷量

順位(全国)	果樹名	収穫量	割合(国内シェア)
1位	ブドウ	4万1800t	23.93%
1位	モモ	3万9400t	34.81%
1位	スモモ	7820t	33.85%
1位	カリン	19t	20.54%
2位	サクランボ	1080t	5.97%
2位	ネクタリン	205t	12.22%



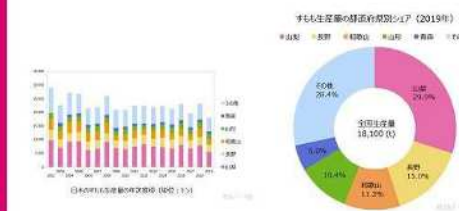
【2022年】ぶどう生産量ランキング



クレソン



スモモ



三森 かおり

- ・ 昭和40年1965年1月15日生まれ 巳年 還暦
- ・ 山梨県ほったらかし温泉の裏側の農村の旧家の長女 養蚕米を作り祖父は村長
- ・ 幼少期から働き者の母を見て農村の自己実現と親戚からの農業に対しての蔑んでいる感じを受ける
(次男の父は学がなかった)
- ・ 昭和50年養蚕から温室デラ栽培で夫婦2人 春から夏場まで寝る間を惜しんでビニール貼り、栽培、収穫、出荷 時期をずらして栽培したので二人で管理できる体制
- ・ 負けず嫌いだったので、農業をしている母の姿からいずれ農業で見返したいと幼い頃から思っていた。
- ・ 周りの男子は農業は継がず農業には否定的だった 農業は 3k きつい汚い厳しい
- ・ 東京の憧れで2年短大に行き山梨の良さを知り山梨に戻り保育士・結婚、農業者に・・
- ・ 20代から町の会議参画・県の会議・バレー理事・男女共同参画勉強会参画・山梨女性異業種の会 副会長

山梨の農業の特徴

- ・ 山梨県は果樹王国であり、ほぼ中山間地域。機械化できにくい。果樹地帯で初めて世界農業遺産認定 個人が強い
- ・ 栽培面積はとても狭いが、品質の高い果物を生産する。
- ・ 四方を山に囲まれ盆地、扇状地、高原など様々な気候がある
- ・ 首都圏に近いと田舎、富士山・果物狩りなど観光が盛ん
- ・ 同じ地域でも気候や土壌が違っているので、気候の分析がとても大変。
- ・ 大消費地が近いので、個個でも販売が可能。山国は厳しい環境
- ・ 果樹栽培は 法人化が難しく年間雇用が厳しい。春から夏まで必要

必然を考える

- ・ やりたいこと→やるべきこと→やる→やるための準備→実行
- ・ 成功者→現場の問題点明確→目標設定→準備→実行
- ・ どう行動するのか→何が成功か→声をあげ仲間→役割分担→実行
- ・ 実行すること→問題山積→課題解決→成功事例無→自分らしいやり方
- ・ 人・物・金→すぐにできること→長期にかかること→自分の年齢
- ・ やり方はそれぞれ→皆同じ道を歩む→家族・会社・地域が良くなる

有限会社ぶどうばたけ

- ・ 耕作地 甲州市（勝沼町駅の周辺）を中心に山梨市 2市6ha 認定農業者
- ・ 平成16年 農家から 法人へ必然で 地域の勉強会から県・国の勉強会へ
- ・ 山梨は人口が少なく果樹が盛ん。人手不足 耕作放棄地対策 負の財産
- ・ 50品種 生食用ぶどう栽培 加温ハウスから路地まで 社員3・パート4・バイト2 年間雇用
- ・ 生産・加工・販売（直売店）同じ敷地内 昭和初期から手絞りの葡萄酒の蔵
- ・ 直売・配送が中心、個人・企業など贈答用が多い 外販 JR上野のもの 出店
- ・ 加工品はジュース・レーズン・葡萄酒を年間販売 完熟したぶどうを最後まで廃棄せず加工を行う
農業体験・雄牛導入（現在は山羊へ）農福連携（農作業細分化 農業初心者にも通じる）
- ・ 法人協会の理事を拝命 国の審議委員 雪害の対応 役職は飾りでない ストレートで勝負する

6次化は農村の宝物探し

- ・ 6次化の考え 古き良き時代の宝探し 過去（世界）財産を探す
- ・ 人材がない 人材を身近から探す タイミングを待つ 繋がる
- ・ 無理のない関係 家族が優先 空いた時間に働く
- ・ 事業遂行 マンパワーが足りない 他県の障害者の活躍を知る
- ・ 山梨はまだまだ障害者の働く環境は限られている。施設外就労は少い
- ・ 諦めず勉強する 一緒に取り組む施設を探す
- ・ 1年かけ実現に繋がる 農作業・加工に障害者の活躍の場

農福連携の歩み

- ・ 山梨は人口が78万人全国42位らしい 最新データー 人がいない**人手不足**
- ・ 果樹の耕作放棄地は山際、棚もあり解消しづらい 予防が大切 **草取り**
- ・ 農福連携には施設のマンパワー必要 簡単ではない**施設外就労**
- ・ 長野の女性に依頼 農福連携のパートナー施設と実現化 現在
- ・ 事業を行うにはお金が必要。国の事業を探して引っ張る **実現する方法**
- ・ 問題山積だったが1つ1つ施設の方と確認し現在も継続してきている。
- ・ 出来ることを無理なく時間軸も長く対応すること 任せる **信頼関係**
- ・ 継続は力なり お互いに理解し合えるパートナーになる。H28から10年

一緒に歩むパートナー

- ・ 障害者の活躍の場 障害者を知ることが大切
- ・ 成功事例からではわからない現場の問題 障害者とは
- ・ 依頼するには 彼らの得意なこと できること 年間活躍できる場
- ・ その為に 農福連携の勉強会 仕事のマニュアル作り 全てに必要
- ・ 長く活躍していただける関係 一過性のものでなく年間依頼
- ・ お試し期間やお試しの方法をお互いに模索する 共に歩む
- ・ 社会の財産 農業の現場、加工作業、方付け できることを一緒に解決

自分達の目指す農業 現場の課題解決へ

- ・ 山梨県は耕作放棄地 多い 農業の活性化と新しい視点（雄牛が草を食べる事業）→山羊5頭
- ・ 果樹は解消するのに10年はかかる 棚補修・樹の育成 無理なく貸せる信頼関係・・・**予防対策**なる前に
- ・ 人手不足解消 過疎地で持続的に働く方を考える 現状を分析する どうするか?? **田舎にいる人**
- ・ 果樹は複雑 勉強会参加で農作業の細分化を学ぶ。（自社の果樹の細分化を行う）**JMACとの出会い**
- ・ 負の財産 （耕作放棄地 **X** 障害者）の方と農福連携を進める 現場の課題解決の1つ **活躍できる場**
- ・ 生育の工程を細分化すること 時期によりやることが明確化（スマート農業へ）**農水省事業を活用する**
- ・ 援農隊と名付け、農業・ワインに人が来る仕組みを作る（都市農村交流）
- ・ 下物の価値を上げる。加工を行い付加価値をつけて通年販売を行う。**6次産業化 地域の宝探し**
- ・ 年間人が来る仕組みを考える。農業体験 農家体験民宿など立地を生かして考える。**ファン作り**

農福連携を取り入れる為には

- ・ 障害者も一人一人の人間で、障害の程度により異なる
- ・ 軽度から重度まで、社会貢献ではなくパートナーとして願う
- ・ 個人の雇用から施設外就労まで、農福連携を取り入れている方県の農福連携なども利用してハードルを下げてトライしてみる
- ・ 自分の都合だけでなく、相手に無理をさせない、仕組みを理解する。
- ・ 個人の成長の時間軸が長いことや、自社に向かないこともある。
- ・ 彼らができることを任せられるようになるのが一番 相互に理解

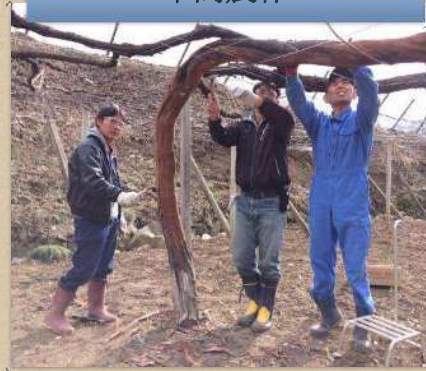
未来を紡ぐ勝沼協議会

都市農村交流・農福連携 (2013~19)

キッズアグリ
栽培から販売までの体験



年間農作



ぶどう酒仕込み体験



旬の農作業体験



年間加工



子供から大人体験受入

次の世代にバトンタッチ

- ・ 誰でもトップアスリートの時期はあるが、次のバトンを渡す準備
- ・ 次の世代も魅力ある農業経営ができるよう、ぶどう、葡萄酒文化をつなぐ役割。地域の発信を行う 地域に必要とされる1員になる。
- ・ ファン作りを継続して行う (個人・会社用)
- ・ 常に時代と共に柔軟に変化できる、また人を育てる環境作りを行う
- ・ 常にアンテナを高くし、政治経済、国の方向性を鑑みることが必須。
- ・ 勝沼のネームバリューを考え、個人のファンだけでなく、法人のファンを増やし、年間安定して農産物・加工品を提供する仕組みを考える。

私が思うリーダーとは

- ・ 人は全員違っていい農業は今までの集大成自分を活かせる
- ・ 孤立しがちな農業 小さいコミュニティだけでない 地域から県全国へ
- ・ 農村は課題がいっぱい 課題解決をできるところから無理なく
- ・ 時間軸を考え自分の環境を書き出し、目標を記入する
- ・ 一人（家族）でできること、仲間を募ること、地域ぐるみで行うこと
- ・ リーダーはあなた。過去の経験を活かし、人脈を活かし、課題解決
- ・ まずは夢の実現。声に出し実現に向け整理整頓。準備万端

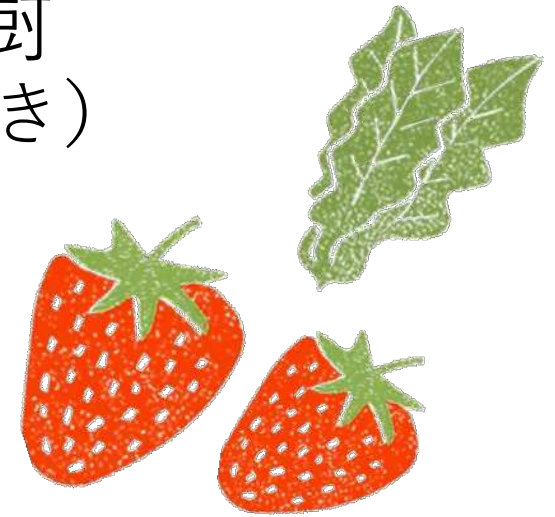
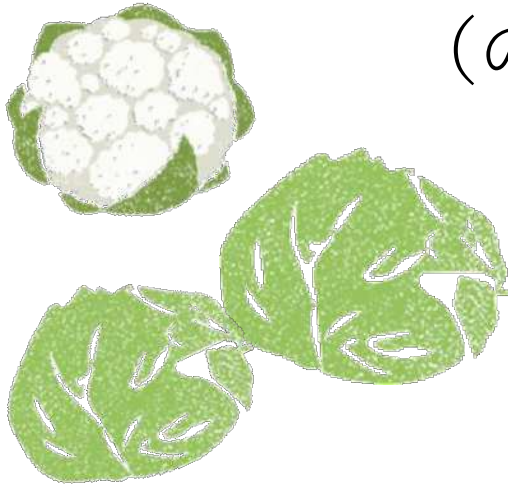
勝沼から発信

- ・ 果物は旬がとても大切
- ・ 日本の四季が分かる農産物の1つ
- ・ 日本の果物狩りはとても人気が高い
- ・ 日本は高品質な芸術的な果物を旬の贈答に贈る
ほぼ贈答用である
- ・ 子供達にもっと果物を食べていただけるよう、
各県の果物を学校給食として、提供できる環境
を作りたい。手頃な価格 文科省へ
地元JA・自治体と一緒に



女性農業者リーダー育成研修会

群馬県昭和村
農園星ノ環 星野美樹
(のうえんほしのわ ほしのみき)



本日の流れ

- 自己紹介
- 会社紹介
- 会社の取組について
 - ・ 技能実習生たちの受け入れ
- 今後の課題



自己紹介

ほしの みき

星野 美樹

千葉県市川市出身

群馬県昭和村在住

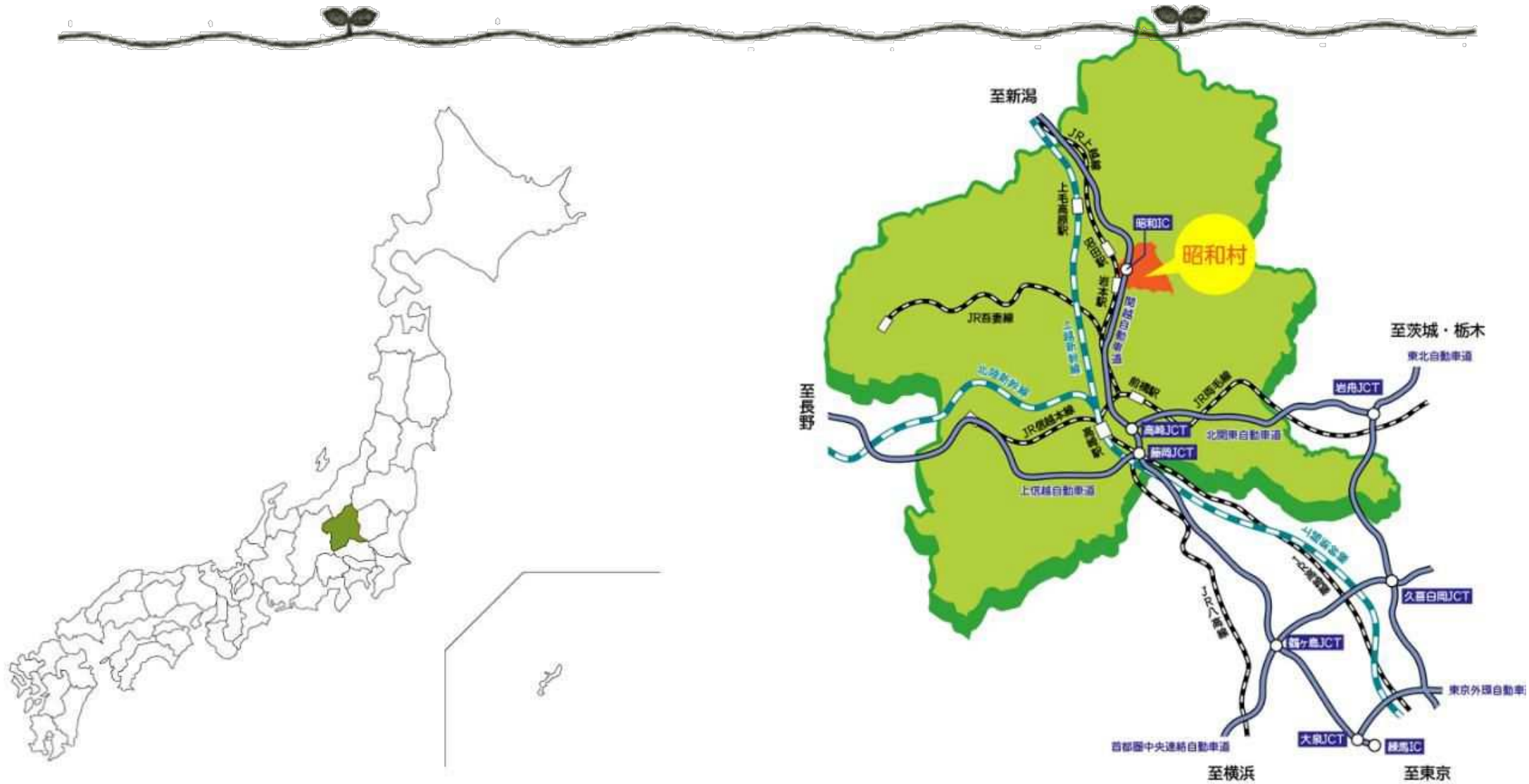


千葉県立国府台高校卒業
学習院女子短期大学卒業

1997年～2013年
JALUX（旧日航商事）勤務
機内販売品部
秘書室
広報宣伝部
通信販売部

結婚を機に退職して就農
2014年～現在
農園星ノ環
総務・広報宣伝・通販担当
実習生たちのお母さん
飲食部門担当

群馬県昭和村ってどこにあるの？



群馬県「やさい王国」昭和村



群馬県「やさい王国」昭和村



昭和村の人口 6,977人
世帯数 3,888世帯
外国人のみ世帯 744世帯

人口の外国人比率
11%

※外国人のみ世帯は1世帯1人とみなして計算
(2025年8月30日現在)

農園

星ノ環

HOSHINOWA

群馬県昭和村

広大な畑で育てる

高原野菜





露地野菜部門



飲食部門

㊦ ムラノナカ食堂

㊦ ムラノナカ珈琲



施設野菜部門

インドネシアからの技能実習生・特定技能の受け入れ



会社の取り組み：日本語能力向上・スキルアップ支援

🗨️ 日本語能力向上・スキルアップ支援

日本語能力の向上及びキャリア形成を目的としたスキルアップ支援に力を入れています。日本語学習の支援では、日本語能力試験の初回受験費用の補助や試験対策として業務時間外に学習をサポートしているほか、試験に合格した場合は奨励金を支給。また日常業務の中でも仕事内容を日本語で記録・報告するとともに終礼を当番制にしてその日あったことへの感謝を日本語で発表するなど日本語を使う機会を多くもつようになっている。外国免許切り替えや、準中型免許取得のサポートもしている。

キャリア形成支援としては、2年目の外国人材を対象に目標設定・管理の取り組みを行っている。各自月次で目標を立て進捗確認や振り返り等を行うことで仕事のやり方を学び、指示されて仕事を行うだけでなく自ら考えて仕事ができるようになることを目指している。



また長く働きつづけるため特定技能2号の資格取得のための学習支援や、外国人材が将来、母国に帰ってから日本での経験を生かしてどのように働いていくかを考えるために「起業ゼミ」を実施。「起業ゼミ」では外国人材に帰国してから取り組みたい仕事に対して事業計画策定のための指導・助言を行っている。

会社の取り組み：日本語能力試験・外国免許切り替え試験



会社の取り組み：仕事の情報共有と今日の「ありがとう」



会社の取り組み：お誕生日会などの食事会で相互理解



会社の取り組み：日本の文化に触れる機会をつくる



会社の取り組み：地域行事（村のバレーボール大会）に参加！



令和4年度 群馬県多文化共創カンパニー認証



本日の流れ

- 自己紹介
- 会社紹介
- 会社の取組について
 - ・ 技能実習生たちの受け入れ
- 今後の課題



制度概要 ①在留資格について



法務省
Ministry of Justice

- **特定技能1号**：特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を必要とする技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格
- **特定技能2号**：特定産業分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格

特定産業分野：介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、
(14分野) 建設、造船・舶用工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食品製造業、外食業

(特定技能2号は下線部の2分野のみ受入れ可)

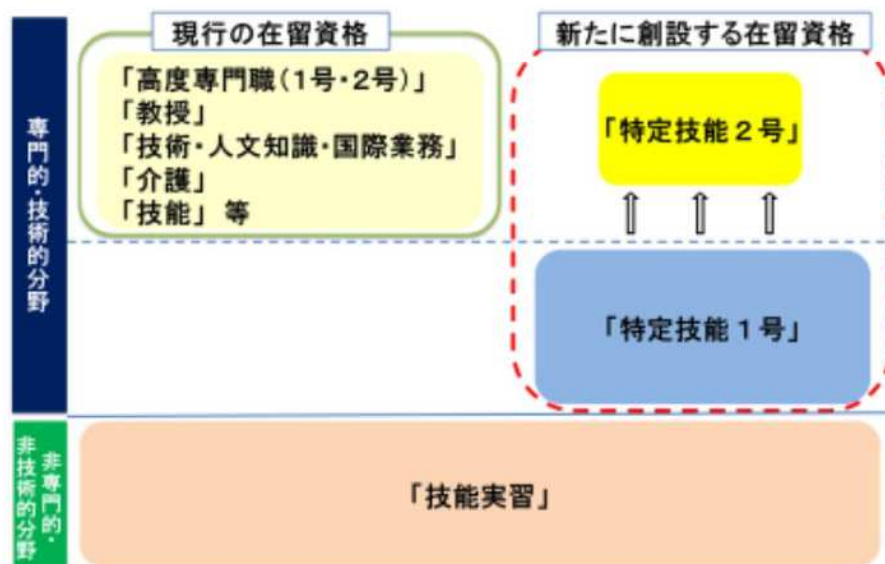
特定技能1号のポイント

- 在留期間：1年、6か月又は4か月ごとの更新、**通算で上限5年**まで
- 技能水準：試験等で確認（技能実習2号を修了した外国人は試験等免除）
- 日本語能力水準：生活や業務に必要な日本語能力を試験等で確認（技能実習2号を修了した外国人は試験等免除）
- 家族の帯同：基本的に認めない
- 受入れ機関又は登録支援機関による**支援の対象**

特定技能2号のポイント

- 在留期間：3年、1年又は6か月ごとの更新
- 技能水準：試験等で確認
- 日本語能力水準：試験等での確認は不要
- **家族の帯同**：要件を満たせば可能（配偶者、子）
- 受入れ機関又は登録支援機関による支援の対象外

【就労が認められる在留資格の技能水準】



今後の課題：会社で長く働く外国人材の今後

ワンディ サプトラ
WANDI SAPUTRA
インドネシア・チアンジュール出身



19歳で初来日。現在28歳。

2015年～2018年

技能実習生1号・2号

2019年 技能実習生3号

2020年～特定技能1号

2025年～特定技能2号

担当は露地野菜のサブリーダー
農場長の下で栽培管理や収穫・出荷
などを行う



ありがとうございました





Gunma Intercultural
Co-creation Company

群馬県多文化共創カンパニー認証



農園
星ノ環
HOSHINOWA

